

地域連携推進会議録

実施日：令和 7 年 9 月 2 9 日

場所：東洋育成園会議室

10:00～12:00

1. 開会のあいさつ

ただいまより令和 7 年度東洋育成園、本日は地域推進会議にご出席受けたまわり誠にありがとうございます。それではただいまから東洋育成園・地域連携推進会議を始めたいと思います。

2. 出席者紹介

施設長：金森文明

何かとお忙しい中、足元の悪い中、地域推進会議にご参加いただきましてありがとうございます。たくさんのご意見を頂きながら、施設運営に役立てていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

東洋育成園利用者代表：岩沢則雄さん

サービス管理責任者：田中純子

東洋育成園保護者会会長：中田静夫さん

文殊行政区長：渡邊有一さん

東洋育成園成年後見人：郡司やよいさん

銀河の森福祉会理事長：安瀬ちえ子さん

田村市保健福祉課部社会福祉課：鈴木真知子さん

記録：遠藤成真

参加者 9 名

3. 施設概要説明

・東洋育成園は昭和 54 年 4 月双葉郡富岡町に開設しました。2011 年東日本大震災の事故当時、大越町にあった多機能型事業所田村に 1 ヶ月ほど避難。その後千葉県鴨川青年自然の家にて約 10 ヶ月程避難。平成 24 年仮設施設に移動。平成 28 年に本施設に移動、今年で 9 年目となります。最初の定数は 50 名でしたが、令和 5 年に協会内の施設へ数名移動となり、現在は 40 名の利用定数となっています。

・施設の行事で昨年は吉本興業芸人のレギュラー・ペンギンナッツに来ていただき、催しを行いました。これまでは、日帰り旅行としてアクアマリン、会津村等へ行きました。しかし最近が高齢化に伴ってトイレに近い方もおり、郡山のイオンタウン・ラウンドワン等で買い物や運動をしています。

・田村市と地域生活支援拠点にかかわる事業で緊急保護の受入れをしています。また、災害発生時には福祉避難所として、地域の方々を最大 14 名受け入れる協定書を締結しています。

・日中活動は9:30各棟でラジオ体操、身体機能が落ちないように歩行訓練10～15分ほど行っています。トイレ誘導や水分補給を行い、作業室に集まり、各々好きなこと（パズル、積み木等の活動の他、健康器具を使った運動も行っています。また、週1回理学療法士による指導も行っています。

・年間行事について

日帰り旅行については、移動手段としてバスをメインに、利用者6・7名程に3名の職員を配置して実施しています。

・BCP 計画について

自然災害・感染症が発生した場合は、ショート利用の停止。災害時停電になった場合は、状況に応じて発電機やポータブル電源を使用した研修及び訓練を、年2回ほど行っています。感染症が発症した場合、看護師が主導になって発熱の対応、経過観察後にキットを使ってコロナ検査を実施し、ゾーニングで隔離対応をしています。支援にあたる職員の感染予防対策として、防護服の着脱研修及び訓練も実施しています。

夜間2人態勢で緊急事態が発生した場合、施設長・サビ管に連絡し状況に応じて看護師・支援員が通院者に同行します。現在2人目の看護師を探しています。

看護師の勤務体制は常勤です、利用者の異常があった場合は勤務職員が看護師へ連絡し、場合によっては出勤して頂きます

太陽を浴びる時間は今年のような猛暑だと、クラブ活動月に1回ほど、外遊びの活動を行っています。利用者さんの要望に応じて社会支援も行っています。

・嘱託医について

船引クリニック、郡山よしじまクリニック、佐藤歯科医です。精神科は月1回、内科、歯科医については随意行っています。協力医は清水医院、三春町立病院となっています。

（保護者会会長から）吉本を呼ぶのも良いけど地域密着だと言うのであれば、地域からボランティアを募るのも良いのかと思います。郡山や三春にも活動家がいるので、交流を図って行くのも良いし、地域の交流も高まって行くのではないかと思います。

4. 施設見学

- ・施設内外を30分位職員の案内で見学する。

5. 議題

1 施設やサービスの透明性・質の確保

- ・利用者の日常生活の様子 施設内を見学し、利用者の日常生活を確認する。
- ・BCP（業務継続計画）の策定状況について

以前災害が起きて断水した際には、市内のあぶくま更生園へ行き入浴してくる。また、非常災害発生を想定した訓練で、避難先のいわき市に行く移動訓練を実施する。

- ・経営状況の報告 4～8月までの収支状況は黒字であった。

2 施設との地域の連携

- ・障害についてのレクチャー

- ・知的障害とは知的能力や社会生活への適応能力が低く、日常生活に困難を伴う状態を指しています

- ・近隣からの苦情等の共有 特になし。

- ・地域行事のご案内（行政区長より）

労働力を使う（人足作業）が多いですが、地区行政区球技大会など、行事は年間で決まっています。

3 利用者の権利擁護

- ・虐待、事故、ヒヤリハット

当施設では虐待は1件もありませんでした。事故に関しては今年はありません。新聞やテレビで報道された虐待事故があった場合、会議にて取り上げ、何が原因だったか話し合っています。ヒヤリハットは職員間で話し合いをしながら、次の会議でどうすれば良かったかの話し合いも密に行っています。月1回設けている虐待防止委員会議では、全職員出勤しており、棟の見守りにて参加できない職員に関しては報告書を確認して周知するようにしています。苦情解決第三者委員による是正も行っています。

- ・支援者の様子

見学时、自分から職員に手をつないでくる利用者おり、利用者と職員の仲睦まじい感じが伺えた。

- ・利用さん意向アンケート

年に2回行きたいところ食べたいものの絵で視覚的に選んでいただいています

6. 意見交換

鈴木さん（市役所社会福祉課）→生活介護の利用者も楽しそうに参加されて安心しました。ご家族の中から相談を受けることが多く、東洋育成園に入所を希望したい方がいました。東洋育成園の待機は男性7名、女性4名、一度ショートステイを利用していただき65歳以上になると介護保険を優先して利用していただくことになります。

渡辺さん（区長）→職員の負担が多い施設周辺の草刈りなど、委託しても良いのではないのでしょうか？また、施設入所の方、屋内での生活、フェンスの中だけでも外に出る時間を設けた方が良いのではないと思いました。

利用者が無断外出した場合は、まず警察に通報して防災無線などで呼びかけていただくことが良いのでは。田村市のLINEを登録していただくのも良いかと思います。

施設長→万が一不審者が侵入した場合のことを考えて、さすまた・警棒を購入し、警察官を派遣し講習会を行いました。

安瀬さん（銀河の森福祉会理事長）→利用者さんが伸び伸びと過ごしているのがわかる。虐待とかはなさそうです。24時間体制なので、職員が大変だろうと思います。国から要請で確実に避難訓練など一つ一つ行っており、見習いました。

郡司さん（成年後見人）→多方面からの意見を聞くことで、太陽に当たりたい人がいるのではないかという事と、職員の方の負担を考えると草刈りは外部委託がいいのではないかと思います。

7. 閉会の言葉

本日は貴重な時間誠にありがとうございました。